

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	茅野市・ロングモント市姉妹都市交流事業	事業期間	平成 3 ~ 年度	整理番号	01070211
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子
				連絡先	145

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	07	第7章 心豊かな多文化共生社会を創る
				施策	02	第2節 国際理解の推進
				細施策	01	国際交流の推進
				事務事業	01	茅野市・ロングモント市姉妹都市交流事業
	予算事業名			会計コード	001	款 02 項 01 目 06 事業 10
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	平成3年より、生涯学習の一環としてコロラド州ロングモント市との姉妹都市交流が始まった。現在では、パートナーシップの手法によりNPO法人に事業委託をして中学生、高校生の交換交流を行っている。中学生、高校生はロングモント派遣団として、ロングモントでホームステイ体験をし、現地の方々との交流を深める。翌年は前年派遣団としてロングモントに行った子の家がホームステイ先となり、ロングモントからの派遣団を受入れ、家族ぐるみの交流をする。この国際交流は、子供たちの貴重な体験になっているが、家族ぐるみで受入れをする事により家族にもまたとない良い経験になっている。				
	現状と背景 （どうして）	茅野市においても国際化が急速に進み、日常生活の様々な場面で外国人と接する機会が増えている。こうした中、次代を担う中学生に外国の文化や生活に触れ合う機会を提供する。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市内在住の中学生とその家族、市民		
		対象 （直接働きかける）	市内在住の中学生とその家族			
	手段・方法 （どうやって）	国際交流に関心を持つ中学生及びその家族がホームステイ交流事業に参加することによって、市民レベルでの国際交流を促進したい。また国際交流に関心を持つ中学生及び家族を増加させたい。				
		NPO法人茅野国際クラブと連携して、ロングモント市との交流事業を広報ちの・ホームページ・ポスターを用いて積極的にPRし、派遣交流事業を行う。ロングモント団が来日した時には、多くの茅野市民が参加できるように、訪問イベントの案内をちの広報やホームページ等で周知する。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		訪問イベントの開催	イベント数	回	交流期間中のイベント	7
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		学校訪問を除く市民との交流参加者数	交流事業参加者	人	潜在期間における市民との交流数	300

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	2,524,720	2,520,000	2,314,107	2,293,500	2,464,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	2,524,720	2,520,000	2,314,107	2,293,500	2,464,000
職員数	人					
正規職員	人	0.20	0.15	0.20	0.15	0.20
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.20	0.15	0.20	0.15	0.20
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)	人					
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	45.00	45.00	41.00	41.00	71.00
活動指標	イベント数	目標	3	3	7	7
		実績	3	3	7	9
	達成率	100.00	100.00	100.00	128.57	-
	達成率	-	-	-	-	-
成果指標	交流事業参加者	目標	300	300	300	300
		実績	282	253	280	320
	達成率	94.00	84.33	93.33	106.67	100.00
	達成率	-	-	-	-	-
備考						

事務事業名	茅野市・ロングモント市姉妹都市交流事業	事業期間	平成 3 ~	年度	整理番号	01070211	
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子	連絡先	145

期	目 標	実 績	課 題
第1期	ロングモント姉妹提携25周年記念の行事を交流事業に併せを行うので、茅野国際クラブとの十分な打合せをする。市長、教育長、市議会等に早めの出席依頼をする。訪問する学校への説明会をする。	ロングモント市交流事業事前研修が始まった。姉妹都市提携25周年の事も含め、茅野国際クラブと打ち合わせをしながら進めた。教育長、市議会との打ち合わせをした。	ホームステイ交流事業と25周年記念とのそれぞれの予定と関連事項等をチェックし、落ちがないように進める。
第2期	25周年記念式典への招待状、事業関係協力者への通知を送る。記念品、旗等を検討し、発注する。	25周年記念式典、今年度のホームステイ交流事業が終了する。	25周年の節を今後、どのような事に結び付けるのか、改正していくのか、茅野国際クラブと、理事者との話合が必要。
第3期	10月に茅野国際クラブと理事者との懇談をし、これからの「ロングモント市姉妹都市交流事業」を検討する。	茅野国際クラブから急遽、この事業の委託をもう受けられないという希望があり、話し合いをした。	茅野国際クラブと話し合いの結果、来年度は今までとおりに委託を受けてもらい、一年間かけて、事業を受けてくれる市民団体を立ち上げるのか、事業内容の検討をする。
第4期	いくつかの方向性がこれから出てくると思うが、茅野国際クラブと十分な話し合いが必要。来年度の募集の準備をする。	茅野国際クラブがロングモント委員のメンバーを次の世代を育てることの意思表示をし、来年度以降も、引き続き、この事業を受けることになる。派遣団選考会を開催し、中学生8名と付き添い者2名が決まる。	茅野国際クラブが今後も、委託を受けていただけるが、行政側の支援が必要ということであるので、分担内容を明確にした方がもれがないと感じる。

事 中 評 価				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 向 性	②	⑤	⑦
今年度は、姉妹都市提携25周年を迎え、派遣団を増やしてのホームステイやお互いを招待しての式を開催した。この節目をどう生かすか、どう改善していくかが委託先の茅野国際クラブや行政の課題となる。		③	⑥	⑨
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		④	⑧	⑩
委託内容の見直し、ロングモントへの職員派遣		①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定		
チェック					4			レ		3					4		
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・市長、教育長、茅野国際クラブとの話し合いで、指摘があり派遣事業に対して主催者である市として保険に入る。 ・ロングモント団の学校訪問受け入れを夏休み前に行っているが、学校にとって、忙しく対応に苦勞しているようであるが、国際交流教育の一環として行っていることを理解してもらいたい。 ・平成27年度はロングモント市姉妹都市提携25周年を迎えるのでそれに伴う準備が必要。 ・応募者多数の時の、考え、方法も必要。 															記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定															B	
	前年度評価シート整理番号															01070242	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	中学高校の多感な時期に、国際交流として海外での生活を体験することは、とても有意義で、貴重な経験になり、学ぶ点も多いと考えられる。また、ロングモントからの派遣団を家族ぐるみで受け入れる事により、その家族も異文化交流に参加することができ、良い経験になると考えられる。	中学高校の多感な時期に、国際交流として海外での生活を体験することは、とても有意義で、貴重な経験になり、学ぶ点も多いと考えられる。また、ロングモントからの派遣団を家族ぐるみで受け入れる事により、その家族も異文化交流に参加することができ、良い経験になると考えられる。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後						
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充			
	現 状 維 持		③	⑥		⑨		現 状 維 持		レ		
	縮 小		④	⑧		⑩		縮 小				
	休 廃 止	①						休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						

・ロングモント団受け入れ学校との打ち合わせを念入りに行う。	・ロングモント団受け入れ学校との打ち合わせを念入りに行う。
・応募者を増やすように、募集方法として広報ちのを利用した周知や各学校への募集要綱を配布する。	・応募者を増やすように、募集方法として広報ちのを利用した周知や各学校への説明を行う。
・高校生の募集は、今まで、中学3年生に配布しなかったが26年度は配布し、高校生になっても応募できることを周知する。	・高校生の募集については、直に学校や英語教諭等へ事業の説明をし、生徒に声を掛けてもらい、関心がありそうな生徒を紹介してもらう。また、中学3年生にも募集要項等を配布する。
・派遣生徒選考会は、定員8名の10名の応募があり、25周年記念のために全員派遣されることになったが、来年度から8名を超える時はどう対応するか検討が必要。	・派遣生の定員について検討する。

最終評価年月日	平成28年4月13日	最終評価責任者	パートナーシップのまちづくり推進課長	田 中 裕 之
---------	------------	---------	--------------------	---------